



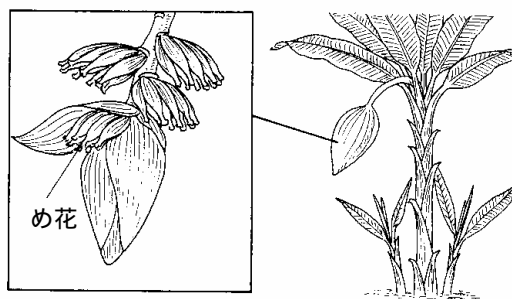
バナナに種はあるの、あるならどこにあるの

バナナの実の中に、種がある

バナナを食べているとき、かじった後をよく観察してみましょう。実の中に、黒い模様のようなものが見えます。今度は、バナナを縦長に、半分に切ってみると、真ん中に、黒いすじが見えます。じつは、この黒い部分が、バナナの種のなごりです。バナナは、大昔からさいばいされてきて、種がなくなってしまった種類が広がっています。野生のバナナには、実の中に種のあるものが、今も残っています。

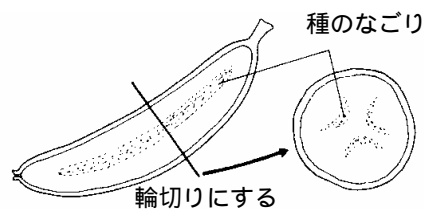
バナナは、め花だけで実がなる

バナナは、シュロのような葉の植物で、成長すると、重なった葉のてっぺんから、巨大な筆の先の形をした、つぼみのようなものがたれ下がってきます。これが、バナナの花のかたまりです。つぼみの外側が1枚ずつめくられるようにそり返り、中から、2列に重なった、バナナのふさの形をした、め花が出てきます。何段もめくっていった、いちばん内側の方に、お花がついています。さいばいされているバナナは、お花は必要なく、め花の根元が大きくなって、バナナの実ができます。



バナナの花

バナナは、根元のわきから、小さい芽が何本も出てきます。この芽を切りはなし、なえとして植えて、ふやします。種はなくてもバナナはふやせるのです。(監修・矢野 亮)



種のなごり

輪切りにする

